

## 近況報告

### 働き始めて

爽風館高校臨時司書

相川 健太

平成二十七年四月、私は大分市にある県立爽風館高校という定時制学校に夜勤の図書館司書として働くことになりました。

この高校について紹介すると、ここは通信制と定時制の二つのコースがあり、前者の場合は、朝から昼までの一部、昼から夕方までの二部、そして、夕方から夜間までの三部として分かれており、後者は、基本的には自宅学習が中心であり、月に二回程通学し、学習や進路等の面接をする事になっています。

さて、物事に歴史があるならば、爽風館高校にも歴史があります。元々、ここは通信制高校と定時制高校が統廃合の結果、合併して誕生したという歴史を持っています。通信制の沿革は、昭和四十三年四月に大分県立碩信高校にまで遡る事が出来ます。その後平成二十二年三月に閉校後、平成二十二年四月に爽風館高校として開校という歴史を辿っています。

定時制の方は、大分中央高校、別府鶴見が丘高校定時制を統合させた形で爽風館高校になった沿革を持ちます。

校訓は、「自新自律、至誠協働」、日々、自分を新しくし、自分を律し、みんなと協力して働くと言う意味です。

目指す生徒像としては、一、自分を律し、他者を思いやる優しさを持った生徒、二、学ぶ楽しさを知り、自ら学ぶ意欲に溢れた生徒、三、活力に溢れ、心身共に逞しい生徒という三つを挙げています。前置きが長くなりましたが、ここで私の一日を説明すると、九時に起床、朝食を取った後、身支度をし、一〇時半に自宅を出、一時六分の大分市の汽車に乗ります。

駅のうどん屋で昼食後、一二時二〇分に駅を出、一五分歩き、一二時三〇分に職場に到着。その後、職員会議に出席後、一三時から一五時に掛けて事務室で勤務し、その後一五時から一七時に掛けて図書室勤務。一七時に給食があるので、それを取った後、小休憩。一七時三〇分から、勤務再開し、一九時四五分に図書館を閉館し、掃除と蔵書点検し、二一時一五分に終業後、二二時一〇分の亀川行の汽車に乗り、別府大学駅に着くのが二二時三〇分。途中、大学下弁当屋に寄り弁当を買ひ、帰宅するのが二三時になります。その後、夕食後、就寝するのが一時という生活を送っています。

仕事内容を説明すれば、図書館業務では主に受付業務、返却された本を元の本棚に戻す配架作業、掃除が主になります。事務作業では、主に電話応対、訪問者の対応、掃除、鉢植えの水やりといった庶務を担当しています。

これらの作業は、一見地味に見える作業ですが、しかしこれらが、無くてはそれこそ成り立たない作業でもあります。

幸いにして、私はこの様な作業が好きなので日々楽しくやっています。勿論、図書館業務の方も生徒からの本に関する相談に乗ると

いった事も喜んでやっています。

さて、この様な日々の仕事の中で、この三つがあります。

一 番目は、とにかく真面目に働くという事です。この事を守れば、例え要領が悪くてもどうにかやっていけます。

二 番目は、責任を持つという事です。これは社会人として重要な事ですので、分かりやすく説明すると何か仕事を任されたらそれを最後までやり遂げるとい事です。

三 番目は、一番目と被りますが、誠実である事が重要だと考えます。これは具体的には、人から任された仕事を裏切らないという意味です。

これら三つの事を守れば、社会人としてどうにかやっていけます。また、細かい事を付け加えれば、忘年会や新年会等の行事は積極的に参加すると周りからの評価は良くなります。

最後に、社会人一年目でまだまだ色々と学んでいる最中ですが、これからも大学や大学院で学んだ論理的な考えや学習方法を実生活に生かしながら、勤務していこうと考えます。また、司書という仕事に興味がある人は、結構仕事内容が広いので、市立図書館などが、夏休みに募集しているボランティア活動などに参加して、どういう仕事を掴んでおくと、実際に仕事に就く際に、飲み込みが早くなります。また、大学でも夏休みに司書の公開講座を開催しているので、そのスタッフとして参加するのも良いでしょう。他にも、大学図書館でもボランティアとして、フォールというサークルがあるので、そこに入って活動するのも一つの手段であると考えます。

以上で、私の働き始めての近況報告を終わろうと思います。編集員の尾籠さんには、原稿が遅れてしまい大変ご迷惑をかけました。この場を借りてですが、改めて感謝申し上げます。